

外来担当表

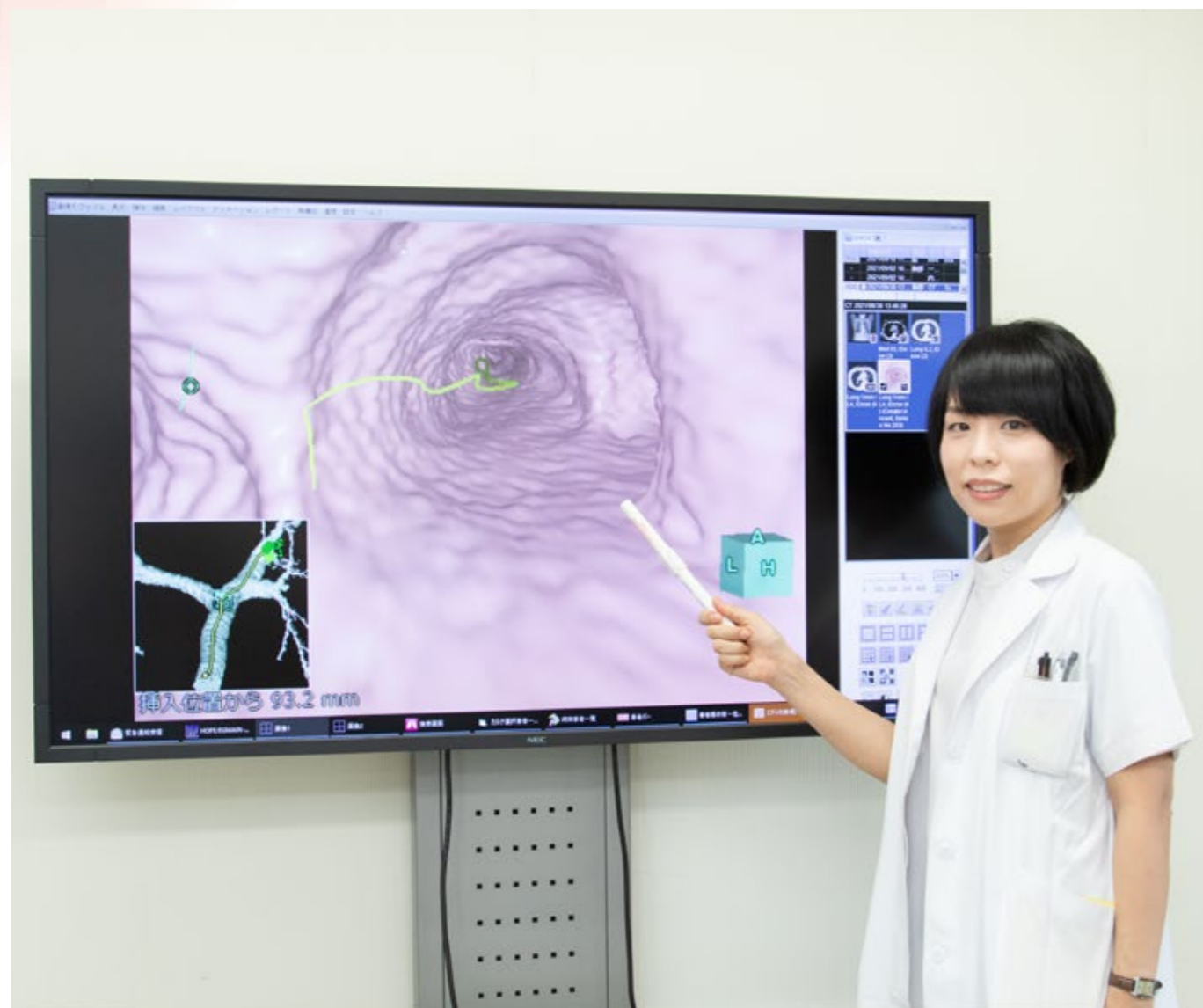
外来窓口	科名	時間	月	火	水	木	金
10 内科	呼吸器内科	午前	小畑秀登(再診)	松嶋 敦	小畑秀登(再診)	松嶋 敦	小畑秀登(再診)
			平野洋子		宇山和宏		菊池悠次郎
13 外科	呼吸器外科	午前	佐野史歩	須藤学拓	須藤学拓		
					佐野史歩		

※外来担当表は、予告なく変更される場合がございます。来院前に必ずお電話でご確認ください。  
※休診予定については、お電話にてご確認ください。連絡先:083-262-2300 (代表)

# Doctors File 11

## 呼吸器内科と呼吸器外科

# 躍動



Doctors File 11

山口県済生会下関総合病院の広報誌

2022年1月24日 発行 発行者:病院長 森 健治 編集:広報委員会 〒759-6603 下関市安岡町8丁目5番1号 TEL:083-262-2300 FAX:083-262-2301

最新の外来診療表がホームページで確認できます <https://www.simo.saiseikai.or.jp/>



Obata Hideto



Sudo Manabu

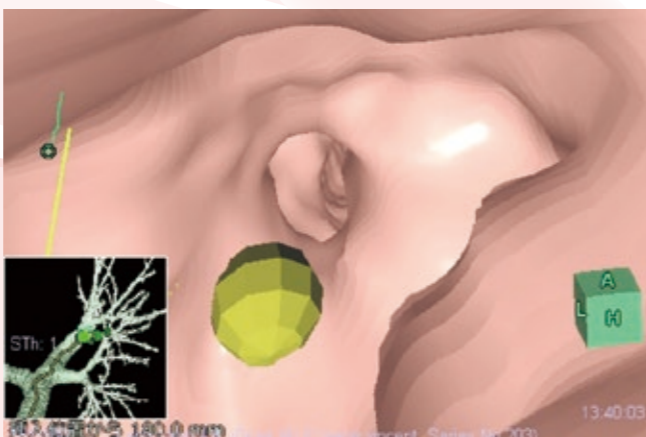
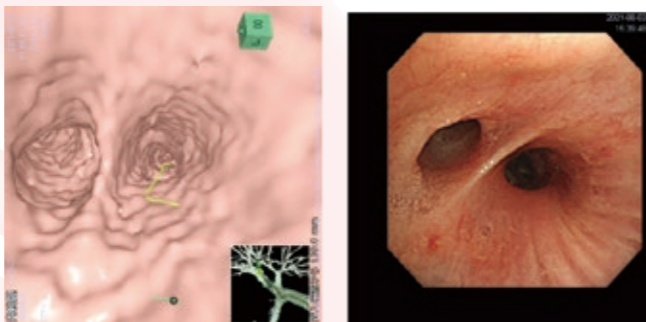
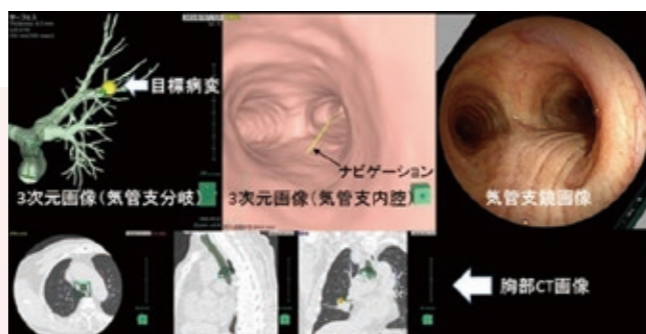
### 当院呼吸器診療における 3次元画像解析システムボリュームアナライザー SYNAPSE VINCENTについて

近年、放射線画像検査の進歩によって、CT、MRIなどの画像による病変の診断精度が飛躍的に向上してきています。それによって呼吸器疾患においても、胸部CTによる肺癌の早期発見が増えてきています。

放射線画像検査は病変の診断だけではなく、内科または外科的治療や、内視鏡またはカテーテルなどの検査の補助として必要かつ有用な検査です。一方で、従来の2次元画像においては、被検者個々の複雑な解剖の立体的構造の把握が困難な場合があります。特に、呼吸器領域における臓器、つまり気管支や肺の血管の走行は、非常に複雑で、さらに分岐構造に個人差を認めることが少なくありません。そこで、CT画像を3次元画像解析システムによって構築した3次元画像が非常に有用となります。

当施設では、最新かつ最先端の3次元画像解析システム SYNAPSE VINCENTを導入し、気管支鏡下肺生検 (TBLB)を行う際には全症例3次元画像解析システムによる画像構築を行っています。

CTデータから気管支を三次元解析することで気管支を抽出し、仮想気管支内視鏡 (バーチャルブロンコスコーピー) 画面を作成します。同時に、病変部をマークすると標的病変への気管支経路を探し出してくれます。検査前にルート情報・岐路情報などを事前にシミュレーションしてから気管支鏡下肺生検を行うことで、さらなる診断率の向上を目指しています。



### 当院における肺がん手術

数あるがんの中でも肺がんは令和の世になっても予後不良ながん種のひとつに数えられています。2015年に免疫療法が登場して以降、内科的治療の選択肢が大幅に増え、治療成績も改善の一途をたどっていますが、それでもなお根治を目指す上で最も重要な治療オプションは手術であることに変わりありません。

現在当院では私と佐野の呼吸器外科専門医2名体制で手術を行っています。従来から低侵襲手術である完全胸腔鏡下手術を導入していましたが、佐野が2020年4月に山口大学病院から当院へ赴任したのを機に彼が山口大学で習得してきた技術を当院に取り入れることといたしました。最大の変更点は胸腔鏡手術における視野の取り方です。今の日本において胸腔鏡手術は見上げ式 (姫路式などとも言います) か対面倒立式 (癌研式や虎ノ門式とも言われます) かの概ね2通りに分類されます。互いに一長一短がありどちらかが優れているというわけではなく、各施設においてこのどちらかの方法で切磋琢磨し手術の技を磨いています。当院ではもともと見上げ式で手術を行っていましたが、これを機に対面倒立式へ変更いたしました。この対面倒立式の最大の特徴は従来の開胸手術と同じような視野を見ながら手術が出来ることにあります。モニター上であたかも開胸手術時に見ているかのような方向に肺やその他の組織を視認することができ (これをSurgeon's viewと呼んでいます)、さらには右側から右手の鉗子が、左側から左手の鉗子が出てくるといういわば当たり前の視野が得られることで、イメージ

がつかみやすくより直感的に手術が行えるようになりました。このような技術変革を加えながら安全性と根治性を担保したより良い術式の構築を目指しつつ日々の肺がん手術に当たっております。また将来的には単孔式手術も導入できるよう他施設への見学なども計画中でさらなる低侵襲化を目論んでいます。

今後も日々研鑽を重ね下関地域の肺癌患者様を一人でも多く根治に導けるお手伝いが出来ればと思います。





# 須藤 学拓

Sudo Manabu

外科科長

【出身大学】

山口大学(平成9年)

【専門領域】

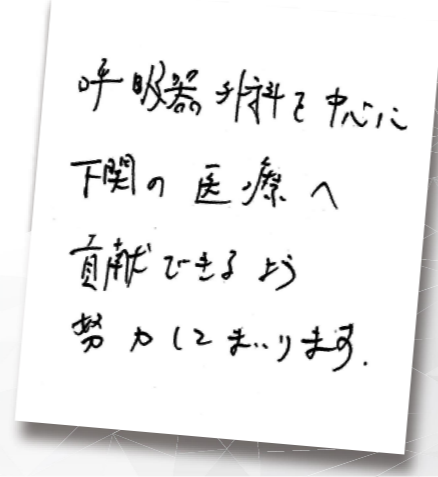
呼吸器外科、一般外科

【資格】

日本外科学会認定医・専門医・指導医

日本がん治療認定医機構認定医

呼吸器外科専門医認定機構専門医



# 松嶋 敦

Matsushima Atsushi

【出身大学】 山梨医科大学(平成14年)

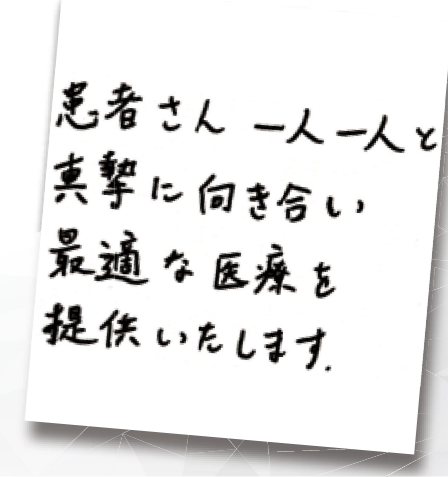
【専門領域】 呼吸器全般

【資格】

医学博士

日本内科学会総合内科専門医

日本呼吸器学会専門医



# 佐野 史歩

Sano Fumiho

【出身大学】

山口大学(平成11年)

【専門領域】

呼吸器外科、外科全般

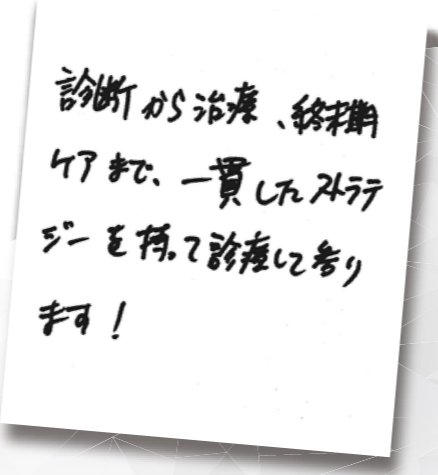
【資格】

日本外科学会外科専門医

日本がん治療認定医機構認定医

呼吸器外科専門医認定機構専門医

気管支鏡専門医



# 平野 洋子

Hirano Yoko

【出身大学】 山口大学(平成24年)

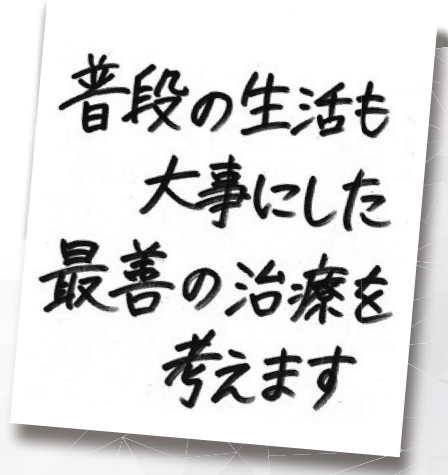
【専門領域】 呼吸器疾患全般

【資格】

日本内科学会認定内科医

日本呼吸器学会専門医

日本結核病学会結核・抗酸菌認定医



# 小畑 秀登

Obata Hideto

副院長 呼吸器内科科長

【出身大学】 産業医科大学(昭和61年)

【専門領域】 職業性肺疾患、呼吸器疾患全般

【資格】

医学博士

山口大学医学部医学科呼吸器・感染症内科学講座臨床教授

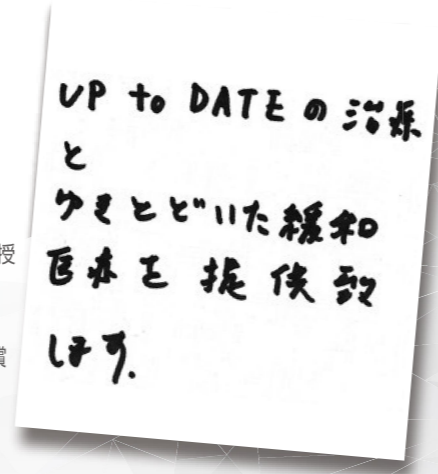
日本内科学会総合内科専門医

日本呼吸器学会指導医専門医

American College of Chest Physicians Young Investigator Award 受賞

日本医師会認定産業医

Infection Control Doctor



# 宇山 和宏

Uyama Kazuhiro

【出身大学】 福岡大学(平成24年)

【専門領域】 呼吸器一般

【資格】

日本内科学会認定内科医

日本呼吸器学会専門医

日本がん治療認定医

